TAYCA REPORT

第150期　年度報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

TAYCA

テイカ株式会社

証券コード：4027

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

このたびの熊本地震で被災された方々にお見舞いを申しあげますとともに、1日も早い復興を心からお祈り申しあげます。

当社は第150期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）を終了しましたので、決算の概況などを、ご報告申しあげます。

平成28年6月

代表取締役社長　**名木田　正男**

当期の業績について

当期は、国内外の新規市場開拓や既存顧客との取引拡大などを積極的に推進するとともに、製造原価の低減、経営全般にわたる効率化を推進し、収益の向上に取り組みました。その結果、化粧品向けの表面処理製品などの機能性製品の販売が好調に推移しましたが、一方で、連結子会社の売上が期後半に入り減少したことなどにより、売上高は366億1千8百万円（前期比1.4%減）、営業利益は47億3千1百万円（前期比24.4%増）、経常利益は48億7千3百万円（前期比24.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は32億1千8百万円（前期比30.8%増）となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり5円とさせていただき、中間配当金1株当たり5円と合わせ年間で1株当たり10円となります。

次期の見通しについて

当社グループを取り巻く事業環境につきまして、まず酸化チタン関連事業では、資源価格の下落などの環境変化はあるものの、世界的な供給過剰や中国の景気減速により、収益面は厳しくなるものと予想しております。

機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛及び表面処理製品に関しましては、世界的に紫外線対策への関心が高まり、UVカット剤としての需要も旺盛であるため、市場は国内外ともに拡大していくものと予想しております。昨年4月に完成した熊山第2工場も順調に稼働しており、更なる拡販に努めてまいります。

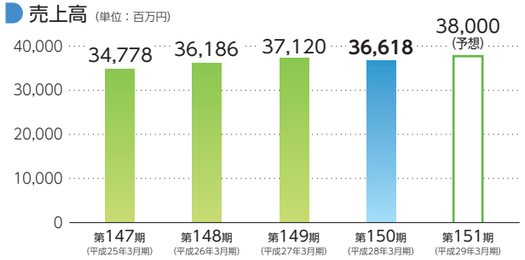
界面活性剤に関しましては、国内洗剤市場の需要拡大が見込めない一方で、東南アジアでの洗剤市場は成長が著しく、東南アジアにおける新しい拠点としてタイに続いてベトナムに連結子会社を設立。本年5月に開所式を終え、6月より本格生産を開始しております。

以上の状況から、次期の連結業績につきましては、現時点で売上高380億円、営業利益50億円、経常利益50億円、親会社株主に帰属する当期純利益34億円を見込んでおります。

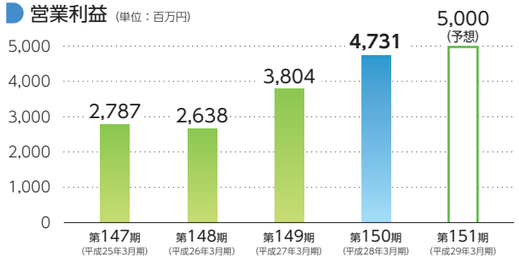
なお、次期の配当金につきましては、現時点で当期と比べ2円増配し、中間配当6円、期末配当6円を合わせ、1株当たり12円を予定しております。

連結財務ハイライト

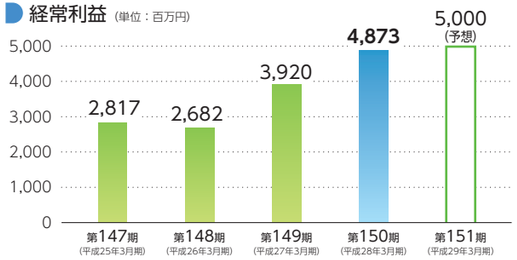
売上高（単位：百万円）



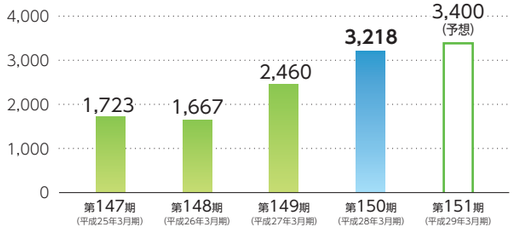
営業利益（単位：百万円）



経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



酸化チタン関連事業

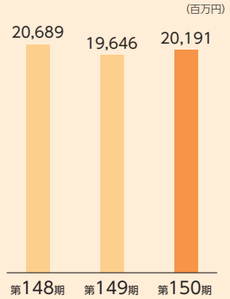
●汎用用途の酸化チタンは国内の塗料・インキ向けの需要が堅調に推移し、輸出もアジア市況軟化の影響を受けたものの販売数量は増加し、国内・輸出ともに売上高は前期並みを維持した。

●機能性用途の微粒子酸化チタンは欧州テロの影響により売上高は前期並みにとどまったが、表面処理製品は化粧品向けがインバウンド需要などにより好調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回る。

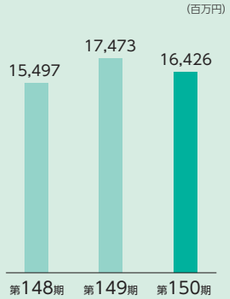
売上高
酸化チタン関連事業
20,191
百万円
55.1%

売上高
その他事業
16,426
百万円
44.9%

2.8%増
（前期比）



6.0%減
（前期比）



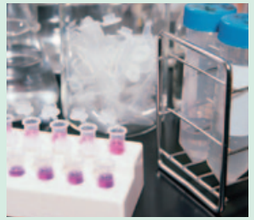
主要な事業内容	会社名
酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、赤外線遮蔽酸化チタン、光触媒用酸化チタン等の製造、販売	当社 テイカ商事㈱

その他事業

●界面活性剤は主用途の洗剤等日用品向けは好調で、売上高は前期を上回る。一方、タイの連結子会社の販売は期後半に入り減少し、売上高は前期を下回る。

●無公害防錆顔料は輸出が堅調に推移し、売上高は前期並みを維持、導電性高分子薬剤は販売が順調に推移し、売上高は前期を上回る。

●倉庫業は荷扱量が増加し、売上高は前期を上回る。エレクトロ・セラミックス製品は顧客の在庫調整により、売上高は前期を下回る。



主要な事業内容	会社名
界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料、導電性高分子薬剤、エレクトロ・セラミックス製品等の製造、販売 化学工業薬品等の輸送、保管	当社 テイカ倉庫㈱ テイカ商事㈱ ティーエフティー㈱ テイカM&M㈱ TAYCA (Thailand) Co.,Ltd. TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD.

TOPICS トピックス

ベトナムの連結子会社 TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD.本格生産開始

平成26年2月、ベトナム社会主義共和国に設立しました連結子会社TAYCA(VIETNAM) CO.,LTD.の開所式を本年5月に終え、6月より本格生産を開始しております。

タイの連結子会社TAYCA(Thailand)Co.,Ltd.と合わせて、成長著しい東南アジア洗剤市場の獲得を拡大し、更なるグローバル展開を図ります。

岡山研究所「大型多目的試作設備」竣工

岡山研究所に附属する設備として大型多目的試作設備の建設を進めていましたが、今年3月に竣工しました。

研究所での試作と工場生産とのスケール差の縮小とともに、準量産供給にも対応でき、開発材料の上市のスピードアップ化を図ることができるようになりました。

特 集

テイカのチカラ Vol.5

製品力「開発製品（皮脂吸着パウダー、赤外線遮蔽材など）」編

テイカの事業について、わかりやすくテイカ博士がご紹介します。
第5回は「開発製品」です。

皮脂吸着パウダー

化粧下地やファンデーション、BBクリームなどの化粧品に使用されています。

本製品は、化粧崩れやテカリの原因となる皮脂成分中の脂肪酸（主にオレイン酸）を吸着・固化する効果を持ち、従来品と比較して、その効果も向上しています。

さらに滑らかな肌触りも特長で、ファンデーションなどの化粧品に配合した際の使用性にも優れています。

テイカが開発した皮脂吸着パウダーは、化粧崩れ・顔のテカリを抑えます。

パウダーファンデーション評価

試験方法

1. 市販の下地クリーム塗布後、各皮脂吸着パウダーを配合したパウダーファンデーションを塗布
2. 塗布6時間後の状態を観察・撮影（皮脂吸着パウダー配合量：10%）

赤外線遮蔽材

桃の果実袋を塗装することで果肉障害の防止に役立っています。

近年の夏場の異常高温などが原因で、白桃の果肉障害（赤肉症、水浸状果肉褐変症）が増えてきています。

健全な果実　赤肉症　水浸状果肉褐変症

共同研究機関　岡山県農林水産総合センター農業研究所
西日本果実袋株式会社

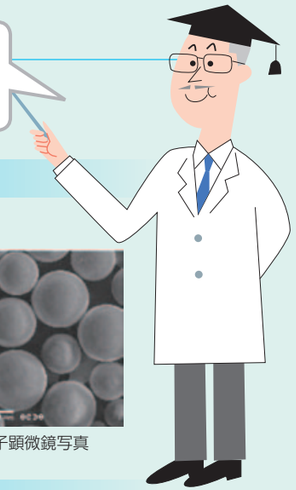
赤外線遮蔽剤を果実袋の表面に塗装することで、果肉温度の上昇を抑制。果肉障害を低減させる効果が確認されました。

機能性果実袋
（赤外線遮蔽剤を塗装している）

機能性果実袋をかけた様子

その他の開発品

テイカは、新規物質開発・用途展開に積極的に取り組んでいます。

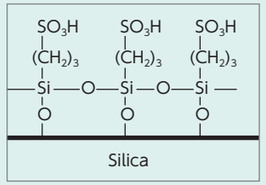


酸触媒材料

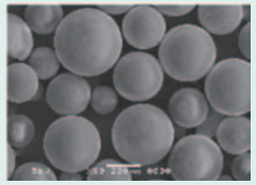
製造工程での廃棄物低減などに貢献します。

球状シリカの表面にスルホン基の特殊加工を施すことで、高い反応性、優れた耐熱性、数百回におよぶ使用耐久性を実現した次世代の触媒材料です。

製造工程での廃棄物低減、工程簡略化を可能にします。



固体酸触媒の構造



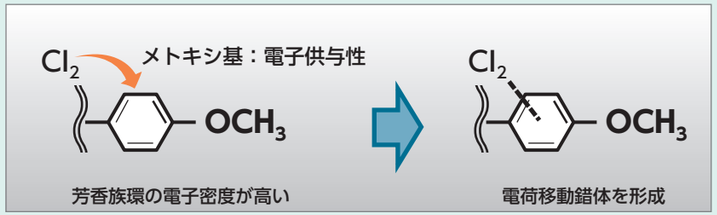
固体酸触媒の電子顕微鏡写真

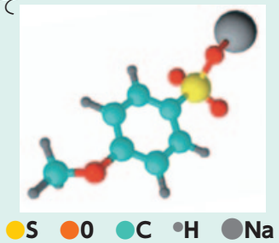
塩素捕捉剤（メトキシベンゼンスルホン酸ナトリウム）

塩素混入による漂白剤の中毒事故を防ぎます。

塩素捕捉剤として本品を使用することにより、次亜塩素酸系の漂白剤に誤って酸性製品を混ぜた時に発生する「塩素ガス（Cl_2）」を捕捉することができます。

■ 塩素ガス捕捉メカニズム



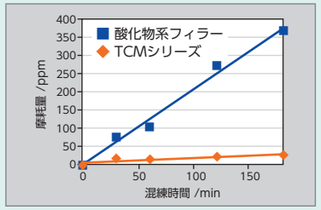


メトキシベンゼンスルホン酸ナトリウム
(MtBSA)

放熱材料（TCMシリーズ）

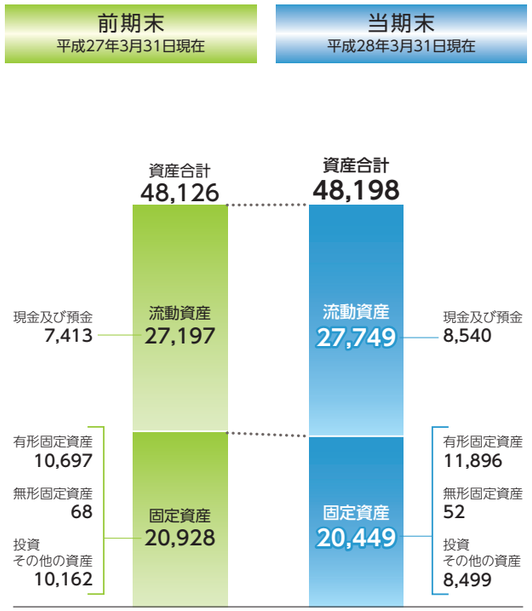
製造設備への異物混入を低減します。

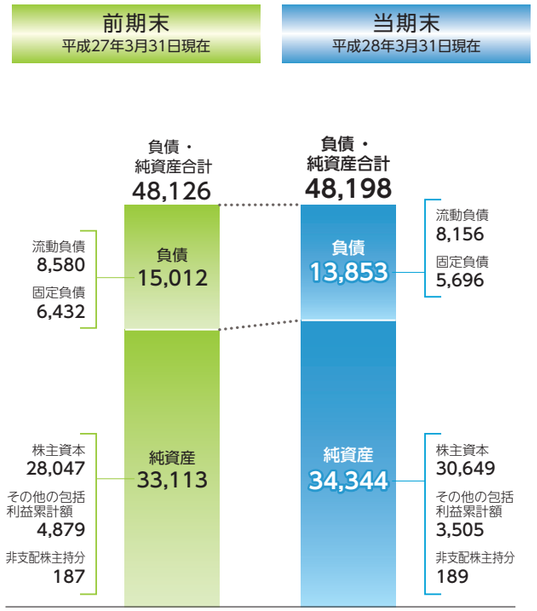
リン酸アルミニウムが主成分で、素材自体が軟らかいため、従来の放熱材料（酸化物系フィラー）と比較して、製造設備の摩耗による異物混入を低減します。



評価条件
- フィラー体積濃度：80%
- 樹脂：エポキシ樹脂
- 混合：混練機ニーダ
- 評価：摩耗量が少ない程、設備摩耗性は優れている。

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)





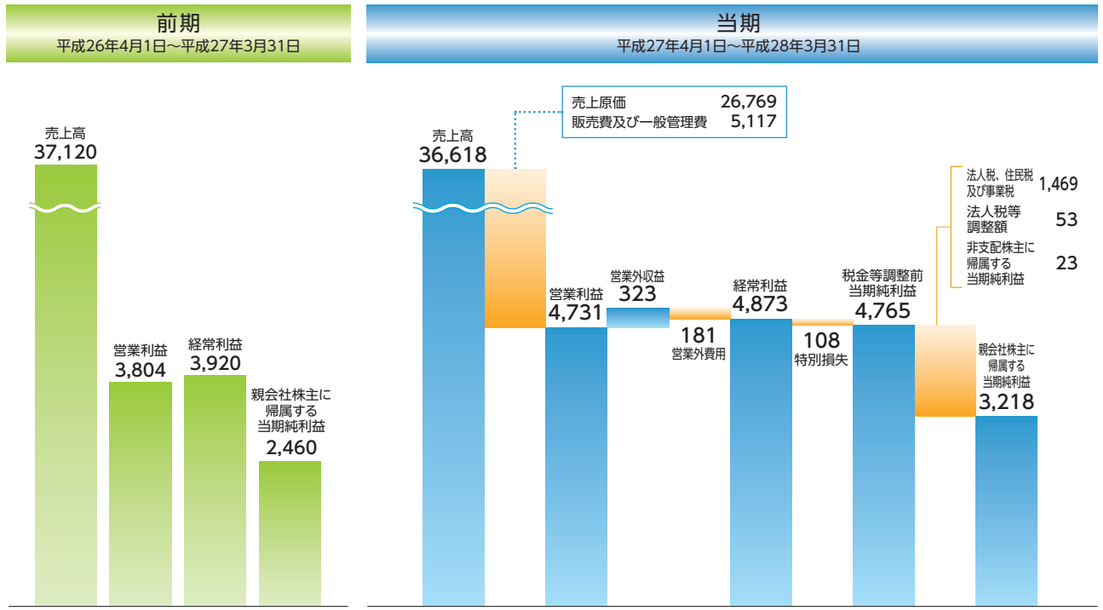
POINT 1　資産合計及び負債・純資産合計

当期末の資産総額は、481億9千8百万円(前期末比7千2百万円増加)となりました。これは主に、流動資産では、現金及び預金が11億2千7百万円増加、固定資産では、有形固定資産が11億9千9百万円増加、投資有価証券が17億1千4百万円減少したことによります。

負債合計は、138億5千3百万円(前期末比11億5千8百万円減少)となりました。これは主に、借入金が11億5千1百万円減少したことによります。

純資産合計は、343億4千4百万円(前期末比12億3千万円増加)となりました。これは主に、利益剰余金が27億8千9百万円増加、その他有価証券評価差額金が11億4百万円減少したことによります。

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



POINT 2　営業利益

国内外での新規市場の開拓や既存顧客との取引拡大などを積極的に推進するとともに、製造原価の低減、経営全般にわたる効率化を推進することで収益性の向上に取り組み、営業利益は前期に比べて増加しました。

平成29年3月期通期連結業績予想 (単位:百万円)

	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	来期予想 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前期比
売上高	36,618	38,000	+3.8%
営業利益	4,731	5,000	+5.7%
経常利益	4,873	5,000	+2.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,218	3,400	+5.7%

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	51,428,828株
株主数	3,789名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)
三井物産株式会社	3,568
三菱商事株式会社	3,260
山田産業株式会社	2,940
KBL EPB S.A.107704	2,866
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,018
テイカグループ持株会	1,838
日本土地建物株式会社	1,389
関西ペイント株式会社	1,224
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,188
双日株式会社	1,000

(注) 当社は、自己株式4,192千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

分布状況

- 金融機関 …… 16.4%
- 証券会社 …… 1.4%
- その他法人 …… 40.6%
- 外国法人等 …… 13.8%
- 個人その他 …… 27.8%

- 1,000,000株以上 …… 51.3%
- 100,000株以上 …… 25.4%
- 50,000株以上 …… 5.6%
- 10,000株以上 …… 8.4%
- 5,000株以上 …… 2.7%
- 1,000株以上 …… 6.1%
- 1,000株未満 …… 0.5%

会社概要 (平成28年6月29日現在)

設立	大正8年12月
資本金	9,855,953,999円
従業員	470名(平成28年3月31日現在)
事業内容	各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)
事業所	
本社事務所	大阪市中央区北浜3丁目6番13号 〒541-0041　電話(06)6208-6400(代)
本店 大阪工場	大阪市大正区船町1丁目3番47号 〒551-0022　電話(06)6555-3250(代)
東京支店	東京都中央区日本橋3丁目8番2号 〒103-0027　電話(03)3275-0815(代)
岡山工場	岡山市東区西幸西1072番地 〒704-8136　電話(086)946-8311(代)
熊山工場	岡山県赤磐市小瀬木50番地1 〒709-0717　電話(086)995-9290(代)
役員	代表取締役会長　清野　學
	代表取締役社長　名木田　正男
	常務取締役　山崎　博史
	常務取締役　辺見　武志
	取締役　池上　毅
	取締役　戸澤　正明
	取締役　西野　雅彦
	取締役　田中　等
	取締役　尾崎　まみこ
	常勤監査役　岡田　功勝
	常勤監査役　宮崎　晃
	監査役　山田　裕幸
	監査役　山本　浩二

(注) 取締役 田中 等、尾崎まみこの各氏は、社外取締役であります。常勤監査役 岡田功勝ならびに監査役 山田裕幸、山本浩二の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所に対して田中 等、尾崎まみこ、山田裕幸、山本浩二の各氏を独立役員とする届出書を提出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502　大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777（通話料無料）

(ご注意)

1.株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り次ぎいたします。

3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

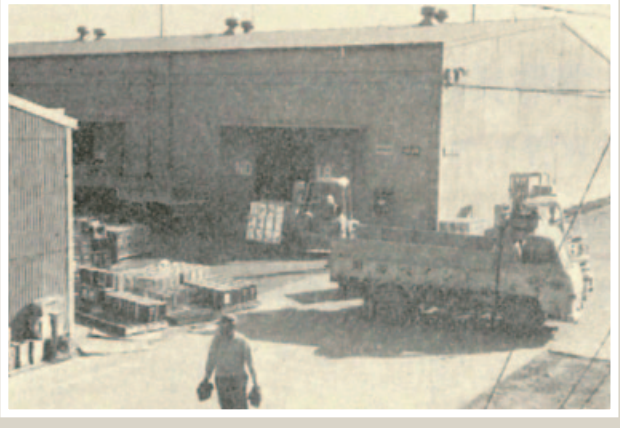
公告方法	電子公告 公告掲載URL　http://www.tayca.co.jp/ (ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第1部

あの日あの時 第6回

1969年、営業倉庫部新設と大和田工場移転

1944年(昭和19年)から硫酸の製造を行ってきた大和田工場(大阪市西淀川区)において、1969年(昭和44年)4月に営業倉庫業をスタートし、同年7月には営業倉庫部を新設しました。その後、西日本最大規模の危険物倉庫を持つテイカ倉庫㈱設立に至る当社倉庫部門の基盤を築きました。

営業倉庫業の拡大に伴い、大和田工場での硫酸の製造を同年11月に停止。収益力の高い65%発煙硫酸製造設備は大阪工場に移設しました。



営業倉庫部 百島倉庫（1969年）

大阪工場 65%発煙硫酸新工場（1969年10月）

大和田工場 解体開始（1969年11月）

TAYCA
テイカ株式会社
http://www.tayca.co.jp/

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022337
VEGETABLE OIL INK
本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。